

歌舞伎スクール “出張寺子屋”

実施学校名 武蔵村山市立第二中学校

日時 令和8年1月9日（金）

場所 体育館

プログラム概要



- ・歌舞伎座や国立劇場の公演にも出演している歌舞伎俳優の中村いてう氏と、附打ち（つけうち）の保科幹氏を講師に招き、日本が世界に誇るエンターテインメント「歌舞伎」について学びました。見得や独特な化粧「隈取」、効果音である「附打ち」などが分かりやすく紹介されました。
- ・生徒は、歌舞伎独特のセリフ回しや見得などの所作を教わりました。その後、代表の生徒5名が、現役の歌舞伎俳優である講師と一緒に歌舞伎の表現を演じる特別な体験をしました。
- ・隈取実演や附打ちの紹介などを通して、観劇とは異なる舞台裏の一端を知ることができました。

体験風景

1 | 歌舞伎の歴史・表現方法の紹介



プログラムの冒頭では、出雲阿国を起源とする歌舞伎の成り立ちや歴史を学ぶ映像を視聴しました。続いて、講師の実演により、附打ちを使った動きや見得など、歌舞伎独特の表現方法が紹介されました。

2 | 所作・立ち廻り体験



代表の生徒5名が「化け物」、講師が「勇者」という設定で、歌舞伎の演技手法の一つである「押し戻し」を演じました。附打ちの効果加わった迫力ある場面が披露されると、会場は大いに盛り上がりました。

3 | 隈取・押隈実演



生徒は、講師によるユーモアを交えた解説と、「筋隈」という勇者の役で用いられる化粧実演を、食い入るように見入っていました。隈取が完成した後は、その隈取を布に写し取る「押隈」が披露されました。

4 | 質疑応答



生徒から講師に対して、歌舞伎の世界に入ったきっかけや日頃から大切にしていることなどの質問が寄せられました。最後に講師から「日本の芸能である歌舞伎に興味をもってもらえたら嬉しい」という思いが伝えられました。

参加した生徒の声・反応



- ・歌舞伎という言葉や日本の伝統芸能であることは知っていましたが、どのように歌舞伎が出来たのかを知り、思っていたよりもずっと歴史があることが分かりました。
- ・歌舞伎の所作体験は、始めは恥ずかしかったけれど、やってみると楽しみながら取り組みました。簡単そうな動きだと思っていましたが、やってみると難しさがあり奥が深いと感じました。
- ・歌舞伎にはあまり興味がありませんでしたが、代表生徒の実演や隈取の実演を見ていくうちに、だんだん面白くなりました。